

IHE-J 地域医療連携における情報連携基盤 技術仕様V3.0 パブリックコメント対応一覧

番号	場所	意見	IHE 対応状況
1	P37 「17. XCPD」の冒頭	特定の患者に関連する医療情報を持つコミュニティの探索とそれらのコミュニティ間の患者識別子の変換手段を提供」とあり、XCPDの本来の機能として「特定の患者に関連する医療情報を持つコミュニティの探索」が、1回のトランザクションで実現が可能な様に解釈できるが、それは正しいのか？ コミュニティの探索が可能だと言うのであれば、中断以降の「次の2つの意図で使用することが可能」の項目として、追加すべきではないのか。	いいえ、コミュニティ毎にトランザクションの発行が必要です。 記載不足の点もございましたので、以下のように修正いたしました。 「特定の患者に関連する医療情報を持つコミュニティの探索とそれらのコミュニティ間の患者識別子の変換手段を提供する。」 ↓ 「特定の患者に関連する医療情報を持つコミュニティの探索とその結果存在が判明したコミュニティ間の患者識別子の変換手段を提供する。」
2	P37 「17. XCPD」の冒頭	「コミュニティは世界、、、他の形のコミュニティの場合もある。」との記載があるが、何を説明したいのか理解できない。このような説明は、XCPDの項には不要ではないか？	この記載は、XCPDが前提とするコミュニティに関する説明文となっております。XCPDでは、この定義されたコミュニティ間での動作を想定しています。XCAの項でも同様の文で説明がありますので、XCPDにおいてもそろえて記載
3	P37 「17. XCPD」の下部	「ITI-55トランザクションは、以下の複数のモードを有している」とあり、3つのモードの説明があるが、その説明の内容がメッセージに含まれる患者識別子の有無に関するだけで、それぞれのモードの機能の違いの記載が無く、説明として意味がない。それぞれのモードをどのように使い分けるのかが理解できるような説明を記載すべきである。	説明が不足しておりましたので、以下の文章を追加させて頂きました。 「各コミュニティにおける患者識別子の管理方針によってどのモードが使用されるべきかが決定される。」
4	P38 「17.XCPD」の下部	「本プロファイルの詳細については、以下を参照のこと。」とあり、IHE-ITI Technical Framework Volume 2b Rev, 12.0 3.55 Cross-Community Patient Discoveryと記載されているが、Vol.2bの3.55は3.55 Cross Gateway Patient Discoveryであり、修正が必要。	「Cross-Community Patient Discovery」を「Cross Gateway Patient Discovery」に修正しました。
5	P38 「17.XCPD」の下部	IHE-ITI Technical Framework Volume 2x Rev, 12.0 Appendix K XDS Security Environmentを参照のこととあるが、TFのXCPD関連からはAppendix Kは参照されおらず、何を参照すべきなのか不明瞭であり、参照する必要があるのであれば、どの項目を参照すべきかを記載すべき。	「Appendix K」の参照を削除しました。
6	全体を通して	「実装品」との用語が使われているが、なじみの無い用語であり、もっと一般的な用語に変更すべきである。	ご指摘どおり「実装品」はなじみのない用語です。「実装品」の単語がなくても意味が通じる箇所については「実装品」を全て削除しました。
7	全体を通して	パブリックコメントにおいては、指摘箇所が明確になるように、文書に行番号をつけるべきです。	貴重なご意見ありがとうございます。今後の参考にさせていただきます。